

平和について考えました

11月に全校で平和学習に取り組みました。

今年も、広島からお借りしている原爆絵画を鑑賞し(2年生～6年生)、各学年で平和・戦争についてのビデオを通して、戦争の悲惨さや平和について学習しました。

その後、6年生は平和学習の総まとめとして、修学旅行で広島へ行き、現地の語り部さんから貴重な体験談も聞いてきました。

子どもたちは、戦争の恐ろしさを実感し、平和とはどういうことなのか、平和な世界にするためにはどうしたらいいのかを考えました。

学習を終えた子どもたちの感想など、学年のとりくみを紹介します。

1年生

1年生は、平和ビデオ「ちいちゃんのかげおくり」の鑑賞をしました。

- せんそうってやっぱりこわいっておもった。
- ちいちゃんがおうちの人とはなれたところがかわいそう。へいわな町がこわい町になってかわいそう。
- ちいちゃんは3さいくらいなのに一人ですごしているのがかわいそうだった。
- 空からげんぱくをおとされたのがかわいそう。

(児童の感想から)

戦争によって当たり前なのが失われる悲しさを感じとっていました。

2年生

2年生は、原爆絵画展の見学、平和ビデオ「おかあちゃんごめんね」を鑑賞しました。

- せんそうでたくさんの人がしんでいったから、せんそうはぜったいだめ。せんそうでたくさんの人がしんだことを知って、心がかなしい。
- せんそうでせかい中の人なくなるのは、せんそうがあるから。多くの人がいなくなることはぜったいにしちやだめ。

(児童の感想から)

戦争の恐ろしさについて考えるとともに、勉強することやご飯を食べること、友だちと遊ぶことなど、今当たり前でできることに感謝する気持ちを持っていました。

3年生

3年生では、平和週間に「しんちゃんのさんりんしゃ」を鑑賞し、原爆絵画展を見学しました。

原爆で引き起こされたことは本当に悲しく、パネル展示は、私たちがどんなに危険なことになるか、「幸せな日々」から生活が一変してしまうことなど深く考えることができました。

《子どもたちの振り返り》

- 三りん車をもったばかりなのに使えなくなって死んでかなしかったと思います。
- しんちゃんがはじめてもらった三りん車にきみちゃんを乗せたのは、元気がないので乗せてあげたいという思いから。
- お父さんとお母さんは大切なしんちゃんの命をなくしてかなしいと思う。

などの感想がありました。平和週間の取り組みを通して、平和であることに感謝をし、前向きに生活していくよさについて考えることができました。

4年生

4年生は、原爆絵画展の見学、平和ビデオ「はとよ広島空を」を鑑賞しました。

〈児童の感想より〉

- 今、当たり前前にできていることが戦争をしているとできない。
- 今の平和が続いてほしい。
- 原子爆弾は非常に恐ろしく、人の命を奪うものだとわかり、もう二度と戦争が起こってほしくない。
- 人や動物などの命を奪う戦争は絶対にいけないと思った。

など、子どもたちは平和について改めて考えることができました。

個々の感想を、読み合ったり聞き合ったりして、意見交換するなどのいろいろな方法をとることで、戦争や平和について考えようとする意欲を育て、心情的な理解を深めました。

5年生

5年生は、平和週間では平和ビデオ『つるにのって』の鑑賞、原爆絵画展の見学をしました。また、国語の教材『たずねびと』でも、戦争や原爆について考えました。

- 戦争のことや原爆のことを知っていると思っていたけど、全然知らなくて初めて知ることばかりだった。
- 改めて、戦争はおそろしいことだと思いました。自分が思っているよりさんこくだったし、しょうげきをうけました。
- 世界中の人と力を合わせて、平和を作っていきたい。
〈児童の感想より〉

平和週間の取り組みや6年生の修学旅行後の報告を聞き、来年度、これまでに学習してきたことを下級生にしっかりと伝えてほしいと思います。



6年生

6年生は、社会科の歴史学習で戦争について学び、原爆絵画展の見学、平和DVD「夏服の少女たち」の鑑賞をしました。そして、平和学習のまとめとして広島に修学旅行に行きました。

平和学習の取り組みはじめは、「戦争はいけないこと。」と何となくしかわかっていなかった子どもたちでした。

しかし歴史学習、平和学習をしっかりとした上で臨んだ修学旅行で、資料館の見学、平和記念公園をボランティアさんに説明していただきながら碑めぐりをする中で、戦争や平和に対する考え方も深まっていきました。

感想には、「核兵器を増やすことはできるけど、へらすことは難しい。でも、わたしたちが考え、悩み続けることが大切だ。」や「原爆の恐ろしさやこわさ、平和の大切さを次の世代に伝えていきます。もう戦争では被害者を出さないために。」といったものがあり、自分のこととしてとらえたり、行動していきたいという考えに変わりました。